

RICEBALL



SEMINAR

ライスボールセミナー

【日時】4月第3・4火曜日 / 12:20-12:50

【会場】創思館1階カンファレンスルーム

参加費無料・おにぎり付

多数ご参加いただいた場合、おにぎりの品切れ、および
入場制限が発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。

2018.
4



和刻本漢籍のパーспекティブ

【講師】 李 増先 (衣笠総合研究機構 専門研究員)

【受入教員】 赤間 亮 (文学部 教授)



ニューロモジュレーションによる 新規リハビリテーション

【講師】 高松 泰行 (衣笠総合研究機構 専門研究員)

【受入教員】 美馬 達哉 (先端総合学術研究科 教授)

“大学ではどんな研究が行われているのだろう？”と思ったことはありませんか？

ライスボールセミナーは、お昼の休み時間におにぎりを食べながら、若手研究者による研究発表を聞いて、自由にディスカッションを楽しむセミナーです。学生でも教職員でも、どなたでも気軽に参加していただけます。お昼のちょっとした空き時間に、是非のぞいてみてください。

お茶やおにぎりをご用意してお待ちしています！

講師紹介

李 増先 (衣笠総合研究機構 専門研究員)

和刻本漢籍のパースペクティブ



■ 専門分野 比較文化論

■ 研究者の道に進んだきっかけ

学生時代に博識な先輩との会話がきっかけでした。それまでに断片的でしか認識できなかったことを、まったく新しい視点からの見方で、切れ目のない一枚の織物のように思えたことが非常に刺激的でした。「この人たちの仲間に加わりたい」と思い、研究者の道に進みました。

■ 研究内容紹介

漢字漢文で書かれた書物のことを「漢籍」と言い、かつての日本ではほとんどの「漢籍」を覆刻して出版しました。当初ではこれらの書物は国内の需要を満たすためでしたが、時代が下るにつれ、東アジアの諸国にも輸出されるようになりました。その中では複雑な経緯を経て、現在地球の裏側にまで渡った書物もあり、それを糸口に見つけたのはまだ語られたことのない物語でした。

高松 泰行 (衣笠総合研究機構 専門研究員)

ニューロモジュレーションによる新規リハビリテーション



■ 専門分野 リハビリテーション、神経科学

■ 研究者の道に進んだきっかけ

効果的なリハビリテーションの開発、科学的根拠に基づいたリハビリテーションの確立に携わりたいと思い、研究者の道を志しました。

■ 研究内容紹介

私は理学療法士として、脳卒中やパーキンソン病患者さんの機能回復や社会復帰を支援する仕事をしています。脳にはダメージを受けても残っている部分があることがその機能を代償する能力(= 可塑的变化)があり、脳機能の回復に重要な役割を果たしています。近年、「ニューロモジュレーション」と呼ばれる、磁気や電気などの外部刺激より可塑的变化を促し、脳の回復を手助けする手法が注目されており、その効果検証やメカニズム解明を研究テーマとしています。今回は、これまでの研究成果について紹介いたします。



【会 場】 立命館大学衣笠キャンパス 創思館 1 階 カンファレンスルーム

【日 時】 4 月 第 3・4 火曜日 12:20▶12:50

【主 催】 衣笠総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO)

【お問合せ】 衣笠リサーチオフィス TEL: 075-465-8224 / FAX: 075-465-8342



ライスボールセミナー、Facebook ページも CHECK !
<https://www.facebook.com/riceballseminar>

